

令和4年度第2回JCHO病院新宿地域協議会(配付型)概要

日時：令和5年3月3日(水) 資料発送

対象者：迫村 泰成 委員(新宿区医師会)

鈴木多恵子 委員(新宿区健康部健康政策課)

植木 豊実 委員(新宿区落合第一高齢者総合相談センター)

秋山 正子 委員(白十字訪問看護ステーション)

津吹 一晴 委員(新宿区矢来町東町会会長)

山田 和男 委員(新宿区町会連合会)

東京新宿 MC： 関根委員、外村委員、野月委員、赤倉委員

東京山手 MC： 矢野委員、北委員、野村委員、三浦委員

概要

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ予断を許さない状況等を鑑み、1回目に引き続き書面開催とし、両病院の取り組みに関する資料を配布し、各委員からご意見・ご要望を返信いただく形式とした。

配布資料

- ・ 新宿地域協議会に係る資料について(案内)
- ・ ご意見、ご要望記入用紙
- ・ (山手)令和4年度第2回新宿地域協議会資料～新型コロナウイルス感染症に対する取り組み
- ・ (新宿)JCHO 東京新宿メディカルセンターからの報告～地域が創る病院、病院がつくる地域～新型コロナ感染症への対応とその影響及び病院で行う認知症支援の取り組み(ご意見・ご要望)
- ・ 別紙のとおり

関根委員

今年度においても新型コロナウイルス感染症の流行(波)を何度か経験し、両JCHO病院より各流行期の患者受け入れや診療状況を資料として紹介させていただきました。各委員には各期の流行の特徴及びそれに応じた病院の対応について、苦労した点も含めご理解いただき、また好意にご評価いただいたことに対し、厚く御礼申し上げます。また、地域医療にそれぞれの立場で貢献されている委員の皆様におかれましても、感染症対応には常に細心の注意を払いながら取り組まれている状況も伺え、大変参考になりました。重ねて感謝申し上げます。

とりわけ今回は、(超)高齢者における、感染症回復後の死亡が少なからず認められ、感染管理の新たな困難さを垣間見たことが印象に残っています。今後は「5類」へと対応が変わることになりますが、コロナは消えることなく、医療機関の対応も慎重に続けなければなりません。その中で、本来求められる事業をいかに継続して行くか、益々委員の方々との連携を強化しつつ、考えていかなければならないと思っております。引き続きのご協力、ご支援をお願いいたします。